

動物実験に関する検証結果報告書

関東学院大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2023年3月

2023年3月10日

関東学院大学
学長 小山巖也 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好



対象機関：関東学院大学
申請年月日：2022年6月24日
訪問調査年月日：2022年10月27日
調査員：今井俊夫、鈴木さつき

検証の総評

関東学院大学は、1884年に創立された横浜バプテスト神学校を源流とし、1949年に新制大学として設立され、現在は、横浜・関内、湘南・小田原、横浜・金沢文庫及び横浜・金沢八景の4キャンパスに11学部5大学院研究科を擁する私立総合大学である。横浜・金沢八景キャンパスの栄養学部と理工学部における学生実験と教員による研究として、年間5件程度のマウスとラットを用いる動物実験が実施されている。「関東学院大学動物実験等の実施に関する規程（以下「動物実験規程」という。）」に基づき、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した動物実験が適正に行われている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則した飼養保管体制が整備され、飼養保管状況も良好である。2015年度に実施された動物実験に関する外部検証の結果を踏まえた規程及び体制等の大幅な改正・整備を動物実験委員会と総合研究推進機構が連携して進めている点は高く評価できる。今後も最新の情報を収集して、適正な動物実験を継続されることを期待する。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
<p>「動物実験規程」が定められ、その内容は基本指針及び飼養保管基準に則している。2015 年度には、研究活動全体の研究倫理や安全管理に関する「関東学院大学生物研究倫理規程」の中に動物実験に関する事項が含まれていたが、2016 年 2 月に基本指針及び飼養保管基準に基づいて現在の動物実験等の実施に関する独立した「動物実験規程」を制定し、その後も適宜内容が改正されている。従って、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
<p>現行の「動物実験規程」で実効性に支障はないが、改正する機会には公私立大学動物実験施設協議会が公開する最新の機関内規程（雛形）第 3 版を参考とし、動物実験計画の実施結果を受けた改善措置及び動物実験等に係る安全管理等の内容について機関の長の責務を明確にすることを検討されたい。</p>

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
<p>3 要件の委員を含む 3 名の委員で構成される動物実験委員会が設置されている。従って、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見
<p>実験計画書を審議する際に 3 要件の委員のすべてが確実に参加できるよう、委員の構成を検討されたい。</p>

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
<p>「動物実験規程」に基づき、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等が定められ、「関東学院大学動物実験計画書」「動物実験計画変更承認申請書」「動物実験結果報告書」「動物実験中止報告書」「飼養保管施設設置承認申請書」「実験室設置承認申請書」「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」等各種様式も整備されている。従って、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
<p>様式の内容確認や動物実験実施状況の把握が明確となるよう、動物実験結果報告書等に動物実験委員会の確認及び機関の長の承認の記入欄を設けられたい。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
<p>「関東学院大学組換え DNA 実験実施規程」を定めている。また、病原体の感染実験や放射性物質及び有害化学物質の投与実験は行わず、麻薬及び向精神薬は使用しないことが規定されている。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 安全管理に注意を要する動物実験を実施しない体制とするのであれば、動物実験計画書の様式等を実情にあわせることが望ましい。
5. 実験動物の飼養保管の体制
1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設は、「動物実験規程」に基づき、動物実験委員会による審査を経て機関の長により承認されている。また、飼養保管施設には実験動物管理者が配置され、「関東学院大学実験動物に関する飼養保管手順書」や緊急時の対応マニュアル等が整備されている。従って、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。
6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）
関東学院大学は、2015 年度に外部検証を受けており、今回が 2 回目である。前回の外部検証の指摘事項等は、「動物実験規程」の大幅な改正により概ね改善されており、その後も「動物実験規程」及び体制等の改正・整備を進めている点は高く評価できる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は対面形式にて開催され、2021 年度は実験計画書 4 件についての審査、及び動物実験結果報告書や実験動物飼養保管状況等報告書の確認等が行われた。また、飼養保管施設の視察、教育訓練、自己点検・評価の実施等、基本指針や「動物実験規程」に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施されていることが議事録に記載されている。従って、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 動物実験委員会における実験計画書の審査において、委員からのコメントがない場合にもその旨を議事録として記録し、保管されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針に則して動物実験委員会の審査を経て、機関の長が動物実験計画書を承認している。学生実習と教員による研究を目的とした実験のいずれについても、動物実験結果報告書及び動物実験の自己点検票が提出され、それらの提出率は 100% であり、動物実験が「動物実験規程」に則り適正に実施されたことを学長は把握している。従って、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
安全管理に注意を要する実験は 2021 年度には実施されておらず、今後も実施する予定はない。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
飼養保管施設では、SPF のマウス・ラットが導入されて 2 週間から 1 か月間程度飼養され、実験動物管理者の指導の下に、飼養保管手順書に従い適正に管理されている。学生実習の一環として学生が実験動物の飼育管理を行う際には担当教員が付き添って実技指導している。飼育期間が短期間であるため微生物モニタリングは行われていないが、実験動物の搬入届書や、飼育室の温湿度及び清掃の実施等を記した実験動物飼育管理記録が保管されている。従って、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
飼養保管施設の環境条件（温湿度・明暗時間）について、飼養保管手順書等に明記されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
施設は比較的新しく、老朽化等に伴う補修や更新が必要な箇所は見られない。飼養保管期間が短期のため、飼育管理資材をオートクレーブ滅菌する等の設備は設置されていないが、飼育装置のフィルターやケージ・架台は清掃されて清潔に維持されている。従って、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
飼育環境をより衛生的に維持するため、施設等の床や洗浄後の飼育器材の消毒を励行する等、日常の飼育管理作業の向上に配慮されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
実験動物管理者は、2021 年度の日本実験動物学会主催の実験動物管理者等研修会を受講している。その内容をもとに実験動物管理者が、動物実験委員会の委員、動物実験実施者及び飼養者に対して講習を行い、2021 年度は 9 名が受講した。また、学生実習においては、大学のシラバスに 3Rs をはじめとする動物実験についての記載があり、担当教員が授業の一環として教育訓練している。従って、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会により自己点検・評価が行われ、その結果や機関内規程、前回の外部検証結果報告書に加え、実験動物の飼養保管状況、実験計画書の承認件数及び教育訓練の実績等について、ホームページ上に公開されている。従って、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>情報公開項目に、飼養保管施設の情報を追加されたい。また、本検証結果報告書についても、速やかに情報公開されたい。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

学生実習と教員による研究を目的とした実験のいずれについても、実験及び飼養保管期間は最長1か月程度であり、年間の実験計画も5件程度の小規模な動物実験施設である。栄養学部と理工学部の学生に動物実験の機会を与えることを一つの目的として体制を整備し施設の維持管理が図られており、引続きそれらの向上に努められることを期待する。



日実動学-外検発 第R4-27号-報

検証実施証明書

関東学院大学
学長 小山 巖也 殿

貴機関は 公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

2023年3月10日

公益社団法人日本実験動物
理事長 三好 一郎



No.2022-27

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



CERTIFICATE

President KOYAMA Yoshinari
President
Kanto Gakuin University

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certify that Kanto Gakuin University received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2022".

Sincerely yours

10 March, 2023

Ichiro Miyoshi DVM PhD
DJCLAM
President
JALAS

Chihiro Koshimoto PhD
Chairman
Assesment and Verification
Committee, JALAS